

いずもぎき

# 議会だより

第76号

2012  
平成24年7月20日



## 6月定例会

### もくじ

---

・ 6月定例会・委員会報告 .....	2
・ 全員協議会 .....	4
・ 一般質問 .....	5
・ 町民の声「身の丈のがんばりで」 .....	10



平成23年度一般会計補正予算、平成24年度一般会計・特別会計補正予算、条例の一部改正など議案10件が提出され、慎重審議の結果いずれも原案のとおり、可決、承認しました。また陳情1件について不採択としました。

## 平成23年度一般会計補正予算 (第11号)

一般会計補正予算 234万円の減 補正後の予算総額36億4525万円

### 主な歳出

(△印は減額)

- ・ 財政調整基金利子積立…………… 33万円
- ・ 除雪委託料減…………… △115万円
- ・ がんばる街なみ支援助成金減…………… △100万円
- ・ 妻入り会館駐車場舗装工事減…………… △101万円  
(駐車場山側の土留工事変更による減額)



妻入り会館駐車場

6月定例会で常任委員会に付託された議案の審査内容について主なものを報告します。

#### 総務文教常任委員会

◎ 町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

**総務課長** 今回は、勤務時間が7時間45分に満たない非常勤職員の勤務期間が1年を超えて継続の場合、育児休業取得の対象になるものです。

**議員** 非常勤職員にも有給休暇が与えられているわけですか。

**総務課長** 正規職員並みに有給休暇は与えております。さらに7月から9月の間、夏季休暇5日間を、フルパートについては、正規職員と同様、嘱託職員・非常勤職員については、勤務時間において、若干減りますが、与えております。



#### 社会産業常任委員会

◎ 町国民健康保険税条例の一部改正

**議員** 軽減措置により納税者の半数以上が対象になります。今後、高齢化により負担増となる予想を立てていますか。

**町民課長** 高齢化が進みつづけると、今の割合が減ることは考えにくく、制度が変わらない限り、割合は少しずつでも増えていくと思われます。

**議員** 値上げしなければならぬ理由は。

**保健福祉課長** 国保税は毎年度、医療給付費など、かかる総額から、国の負担金などの、特定財源を除いた経費を税金として集める構成のものです。

当初予算という形で当該年度の医療費などの総支出額を推計し、それに対する特定財源の割合を算定しています。

前年度の所得の確定と繰越金が決定したことに伴い、条例の税率改正を毎年行っているというものです。

# 6月定例会

(会期 6月11日～15日 5日間)

## 平成24年度一般会計補正予算 (第1号)

一般会計補正予算 1692万円

補正後の予算総額33億92万円



地域に貸し出し除雪を行う事業スタート (写真はイメージ)

### 主な歳出

- ・ 歩行用除雪機械購入…………… 88万円
- ・ 歩行用除雪機械2台  
車載式小型凍結防止剤散布機購入… 314万円
- ・ 除雪機械・装備品購入補助  
(NPO法人ねっとわーくさぶらい) … 110万円
- ・ 町内ボランティア団体対象講演会  
開催補助 (町社会福祉協議会) …… 65万円

- ・ 宝くじコミュニティ助成事業  
(諏訪本町・獅子頭など) …… 250万円
- ・ 林道常楽寺線復旧工事…………… 140万円
- ・ きずな実行委員会負担金…………… 150万円
- ・ 中学校デジタル黒板用  
英語指導テキスト…………… 23万円



崩壊した林道 (常楽寺線)

## 特別会計

住宅用地造成事業補正予算 (第1号)

補正額  
193万円

補正後の予算総額  
553万円

陳情第3号

### 不採択に決定

直轄事業の継続と適正な維持管理、地元建設業への支援を求め  
る意見書提出に関する陳情書

### 可決した条例改正など (主なもの)

◆町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

・ 勤務期間が一年以上である、非常勤職員について育児休業の取得を可能とするもの

◆町国民健康保険税条例の一部改正

・ 基礎課税分についてのあん分率の改正  
・ 低所得者の被保険者に対しての減額措置

# 全員協議会

主な質疑について報告します。

## 第4回 5月2日開催

### ◎旧JA跡地活用検討委員会からの報告について

**産業観光課長**

3月22日に、検討委員会から跡地の有効活用のための提案書が提出されました。

幅広く活用の提案がなされており、今後、町では示された内容を庁内会議で検討し、実施に向けた計画及び、財源の確保などを行っていきたくと考えています。

**議員** 仮に施設を作るとすれば、今後どのような進め方・見通しがありますか。

**町長** 一つの時点で着手するというのではなく、時間をかけながらしっかりと構想を固めて、進めていきます。

### ◎石井町1区、若者向け町営住宅の概要について

**建設課長**

良寛堂の前ということ、景観に配慮し、雁木・格子戸を設ける等の対応をします。また、既存の自転車小屋を半分取り壊し、バスの待合所も景観に配慮



工事が始まった若者向け町営住宅（石井町）

し改築をしたいと考えています。地元の石井町1区に説明をしながら、秋ごろの完成を目指して進めたいと思っています。

### ◎芝峠頂上の航空レーダー基地について

**議員**

レーダー基地が運用廃止になるということですが、廃止時期とその後建物はどうなりますか。

**総務課長** 平成24年度中に運用が廃止され、平成25年度秋までに撤去される予定です。

## 第5回 6月15日開催

### ◎久田地内の離岸堤について

**議員**

昨年の出まえ議会の際、久田地内の消波ブロックは、昭和36年ころ造られ、痛んでいるとの話がありました。その後の対応はどうなっていますか。

**産業観光課長**

平成21年2月に地元から、しけの時に離岸堤を超えて、道路護岸まで波が来るとい話があり、同年9月に与板維持管理事務所からも、現場を踏査してもらっています。また、海岸施設整備事業として、平成22年度から事業要望を申請していますが、与板維持管理事務所管内の優先順位等から、今のところ事業実施には至っていません。

## 議会のしぼりか（主なもの）

（平成24年4月～6月）

- 4・3 議会報特別委員会（議会だより75号）
- 10 議会報特別委員会（議会だより75号）
- 18 議会運営委員会（議会だより75号）
- 18 第4回全員協議会
- 18 第33回町村議会広報研修会（新潟市）
- 22 福島県新地町議会産業厚生常任委員会視察来町
- 29 第37回町村議会議長・副議長研修会（東京都）
- 11・5 議会運営委員会
- 11 6月定例会召集日
- 12 議会報特別委員会（議会だより76号）
- 12 社会産業常任委員会
- 12 総務文教常任委員会
- 13 定例会2日目（一般質問）
- 15 予算審査特別委員会
- 15 議会運営委員会
- 15 定例会最終日
- 28 議会報特別委員会
- 28 第5回全員協議会（議会だより76号）
- 29 新潟県町村議会議長臨時総会・自治懇談会（新潟市）



# おたずねします お答えします

## 老朽化放置家屋対策について

**質問** 過疎化の進む中で問題視されるのは、空き家となり長年放置され続けている、老朽化放置家屋の存在です。

この問題は全国的に点在し、東京都足立区でも、不審者侵入や火災発生の懸念から、「老朽家屋等の適正管理に関する条例」を制定し、対策に乗り出しました。

当町でも、本年発生の爆弾低気圧により、倒壊した建物があることは、当局もご存じのとおりです。

健全生活を営む近隣住民の生活の安全・安心を担保するため、当町も行政代執行権も含めた条例制定などの、抜本的な対策を早急に検討すべきと考えますが、当局の見解を伺います。

### ガイドラインの策定を

**答弁** 足立区を含め、全国31

の自治体が、条例などにより対応していますし、この冬、秋田県大仙市が行政代執行により、5棟の空家を解体したことも承知しています。

家屋は、あくまでも個人の財産で、自己の責任により管理するのが基本です。

行政が立ち入る場合、法的根拠や予算措置の対応も必要となり、訴訟などのさまざまトラブルの発生も懸念されます。

これに関する事例集もあり、弁護士など専門家のアドバイスもいただいています。が、法律的な難しい問題もあり、あくまでも慎重な対応をすべきとの見解です。

当町でも過去、相続上の所有者が分からず、親族により解体撤去された事例もありました。今後、主体となる地域などの協力をいただきながら、危険性や実態を把握し、何らかの対応を検討すべく、現在、対策のガイドラインの策定を進めているところで

す。

**質問** 建築基準法第10条等では、保安上危険な建物の撤去命令や、行政代執行を認める規定もあります。また財産権の保障をうたう憲法第29条では、関連する法律を遵守し、公共または、個人の財産を阻害しない場合などに「財産権の保障」があると解されているようです。

個人の責任により管理すべきは当然ですが、地域では、どうしても対応できない事態には、行政がその助けをするすべを持つべきだと思います。

条例制定をするか否かは別にしても、

町長と私は、この問題に関し、共通する認識でいると思えますが、間違いありませんか。

### 情報提供や

### 連携で進める

**答弁** 結論的には、所有者が特定できず、緊急避難的な事態には、当然行政が対応していかなければなりません。

しかし、すべてを行政任せではなく、あくまでも基本は自己責任であり、主体は住民の協力です。

今後、住民の協力をいただきながら、行政としてのガイドラインの策定を検討してまいります。



宮下孝幸 議員



朽ちていく老朽家屋



仙海直樹 議員

# 婚活支援対策は

**質問** 今日における少子化問題は、国全体の問題でもあり、この背景には、結婚しない人が増えることの非婚化と、結婚を遅らせることの晩婚化があります。

平成24年度版の子ども子育て白書によると、2010年の生涯未婚率は、男性20.1%、女性10.6%です。また、未婚者のうちいずれは結婚しようとする人の割合は、男性86.3%、女性89.4%と高い割合です。人口減少による地域全体の活力の低下などの問題も起きてきます。行政による支援も必要と考えますがいかがですか。

## 形を変えて進める

**答弁** 当町における生涯未婚率は、男性30%、女性72%です。未婚率の上昇は少子化問題や地域の活力の低下を招くことになり、以前町でも、定住促進相談員や商工会とも連携して支援を行ったこともあ

ります。出合いの場の創出は大切で、今後は形を変えた中で進めて行きたいと思えます。

**質問** 各種団体や青年部などが婚活パーティーを主催して行う場合に、お金もかかりますので、その費用を助成する考えはありますか。

## 全面的にバックアップ

**答弁** その様な方々が出てきてくれたら本当にありがたいと思います。町としては全面的にバックアップしながら助成していきます。

※1 生涯未婚率  
50歳の人で結婚経験があるかの指標。

※2 正常性バイアス  
多少の異常事態が起っても、それを正常の範囲内にとらえ、心を平静に保とうとする人間の心理、先入観。

※3 居安思危  
平穏な状況下でも、たえず危機に対処する心構えをもつこと。

# 津波避難対策は

**質問** 今年度予算に計上されている津波避難路整備についてその内容を伺います。

## 新たに避難路などを整備

**答弁** 今年度より3年間で順次行うものに、津波避難看板の設置、避難路の照明や町内40カ所に海拔表示を予定しています。また、木折町2区の裏山から、上野山に抜ける山道を新たに整備し、緊急避難路に整備します。

**質問** 災害時に避難の妨げとなる人間の心理に正常性バイアスがあります。この心理の呪縛を打ち破るには、日頃の防災教育や、避難訓練、防災無線放送の内容に、切迫感を持たせたりなどの、対応が大



津波避難路整備区域予定地 (井鼻1区・木折町2区)

切と言われてはいますが、それらをどう考えますか。  
ソフト面もしっかりと

**答弁** 防災教育については、町民の皆さんや、子ども達を通して、徹底的に理解の場を作っていきたいと考えています。また防災無線放送については、デジタル化を進める中で、町民の皆さんが戸惑いを感じないように、緊急時に放送ができるように、職員に身につけてもらいます。ソフト面もしっかりと行っていく中で、町民の皆さんにも常に、居安思危の心構えを持っていたいただきたいと考えております。



山崎信義 議員

# 町民の健康づくりについて

**質問** 高齢化率、37.3%とアップが続き、医療給付費が伸びております。これに伴い、国民健康保険と介護保険の特別会計の先行きが不安です。今年度、国民健康保険事業で10.1%、介護保険事業で10.9%アップ、金額にして、1億2千350万円増の予算であります。

予防の意味で「自分の健康は自分で守る」健康づくりを進めていくことが大切であると思いますが、現状認識を含め町長の所見を伺います。

**答弁** 平成22年度に「健康いずもぎき21」を策定、健康増進に関する施策を体系的に構築しながら、町民自らが主体的に健康づくりに取組んでいけるよう、ライフステージに応じた取り組みも設定し、全町民の健康づくりを進めていきます。  
健康で長生きする町民が増

えれば、国保と介護保険などの支出抑制にもつながり、真剣に取り組んでいきたいと思えます。

**質問** 県下に誇る機械器具をそろえ、トレーニング教室も開設され、利用者からも喜ばれております。

どこの施設にもいえることですが、最初は沢山の人が来ます。

しかし、だんだん利用者は減ってくるものです。

利用状況の推移について伺います。

**答弁** 平成22年4月から使用開始の導入機器は、全身の筋肉トレーニングが可能で7台のマシン、有酸素運動用としてエアロバイク、ランニングマシン8台、計15台です。

利用人数は、平成22年度、7千382人、平成23年度、5千946人で月平均555人となります。

ています。教室については、関心も高く、もっと増やしてほしいと要望も出ております。

近隣市町村にはない充実した器具が備わっており、筋力体力増強等につなげるよう、利用率の向上を目指していきたいと思っております。

**質問** 海岸地区のウォーキングロードを利用し、健康増進を図るための一つの大きな目玉にしてはと考えます。4つのコースが設定してあります、が個人の日常管理のため、

ノート・カードを作って、その内容により評価、表彰することはいかがですか。

**答弁** ウォーキングロードは非常に快適で、素晴らしいと好評です。

5分、10分健康ウォーキング等を実施しており、100人以上の方々から参加をいただいています。

励みというか、個人の努力をいろんな立場で評価させていただき、町民の健康にプラスに結びつくならば、方法等検討していきたいと思っております。



もっと活用を（トレーニングルーム）





田中 元 議員

# 中学校野球場の整備は

**【質問】**平成18年3月の一般質問の答弁で、今後検討するのは、荒廃した野球場を、住民の一部のたが、ボランテアで整備をして、子どもの練習に使用したいとの話が浮上、仲間との話し合いの中で、ボランテアで整備をするうちはいいと思うが、でき

なくなつた後、行政自体が維持管理するのが大変になるなどの話がでて、現在はストックされています。行政での整備については、消極的な答弁でしたが、住民からの積極的な話でもあり、町長・教育長の答弁をいただきます。

## 町長 教育長 ボランテアに感謝

**【答弁】**平成23年当所予算で計上実施する予定でしたが、東日本大震災による大きな災害が発生、今後の財政状況等も考慮し、議会の理解も得て中止しました。土地を提供された皆さんの思いは充分理解はしているが、野球だけの問題ではなく、中学校全体の子供たちの教育が主眼なので理解いただきたい。ボランテアの申し出については、素晴らしい町としても感謝いたします。好意・誠意を受け止めぜひお願いしたいと思います。

**【答弁(教育長)】**野球場整備は新たな発想、視点のもと、よい方向を検討しなければならぬと思っていました。昨年の初冬の頃、住民の方が野球場の整備をして、子どもたちの練習に使いたいとの申し出を聞いております。その時、教育委員会としてはうれしいことでありお願いしたいと申し上げています。その後の経緯については、中学校野球部指導の先生、少年野球の代表の方と協議しましたが、冬場に差しかかり、代表者の交代時期

等にも重なり、次のステップが遅くなってしまいました。その間にボランテアでの整理の話が出来なくなつたと伝わつたと思います。その後6月に入り住民の方が中学校に来られ、整備の話が再燃し、学校から、教育委員会に連絡があり、中学校で、校長、野球部顧問の先生と協議、住民の方、学校、教育委員会で整備スケジュールを、協議することを確認、協

力を了解していただきました。学校行事や日程を勘案し、関係団体の協力を得ながら、申し出の方の気持を無にしないよう整備を考えています。野球場はセンター、ライトが狭くて、総合練習は難しいが、基礎練習や、穂波の子どもたちの練習には十分と考えます。利用方法については、創意工夫をした活用方法を検討し、教育効果が高まるよう考えてまいります。



きれいになる野球場





三  
輪  
正  
議員

# 「福祉の里」構想の促進を

**質問** 船橋地区に中永トンネルの残土を埋め立てた、約3haの用地に、福祉関連の施設を集積した、「福祉の里構想」の計画がありました。

平成8年の埋立完了から約16年、現在はグループホームとデイサービスセンターの2施設が整備されましたが、全体の3/4は、空地です。

町監査委員からは、「早急に土地の有効利用を実施すべき」と、指摘されており、地盤も非常に良く、地震にも大変強い土地です。町の福祉施設の充実強化を図るためにも、今後のビジョンについて伺います。

## 状況は厳しい

**答弁** 構想の促進については、平成21年9月定例会でも質問があり、運営者となる中越老人福祉協会の福祉整備計画の考え方や、社会経済情勢から、施設整備は難しいと述

べましたが、今日は更に厳しい環境となっております。

本年4月からの、第5期の介護保険事業計画では、本町は県平均よりも高い保険料となり、やすらぎの里の増床が計画されており、保険料の負担が増えるのは必至であります。

**質問** 介護保険料増という、大きな問題があることは承知しておりますが、町民の幸せのため前向きに考えてほしい。また、小木の城駅から施設への歩道整備の要望が出ております。総合的に勘案して、福祉の充実がされるよう考えるべきと思いますが、町長の考えを伺います。

## 民間の利用も視野に

**答弁** 埋め立て地の今後の利用については、福祉の里にこだわらず、民間の利用も視野に入れ、広く検討をする必要があると考えております。

## 八手地区の土地改良の 促進について

### 事業を強力に推進する

**質問** 六郎女地区の事業が間もなく完了します。次は八手地区（稲川・船橋・田中・市野坪の4集落で）、同意の取り付けに努力しておりますが、集落によっては非常に難行しております。

事業効果（作業効率、登記など）を説明しても、なかなか理解していただけない。そこで行政からの強力な後押しが必要と思うが、町長の考えを伺います。

**答弁** 八手地区の整備はほとんど未実施であり、今後の高齢化、農家の減少を考えると、土地改良を少しでも早く実施したい。私自身、地区に出向いて皆さんに同意に向けて説得する気持です。是非そういう場を設けていただきたい。八手地区の拠点の一つ作り、そこを突破口に実施すべきと考えております。



船橋埋立地の現況

# 町民の声

## 身の丈のがんばりで

市野坪  
権田 数栄



地域の絆を大切に

定年を機に地域の方々との出会いを大切に少しでもは労作（ボランティア）でも出来るかと思つた矢先に、震災、豪雨そして昨年の東日本大震災と大きな災害に<sup>あ</sup>会い、全国からの支援と国、県、町、行政と、町民が一体となり、全力で復旧に取り組み、ようやく元の生活に戻りつつあります。古希を目の前にして心身ともに衰えを感じるようになってきました。ここはひとつ、みんなが、身の丈のがんばりで知恵を出し合い、感謝の気持ちを持ちながら、がんばってゆけば、子どもからお年寄まで災害に負けることなく、人口減少、高齢化が進む地域の中で生き生きと、気持ちよく暮せる住みよい町になると思います。行政の支援をお願いします。

### 表紙の小話



海の出雲崎のスタートとなる「海開き」が、7月1日(日)井鼻海水浴場で開催されました。海の安全を祈願する式典の後、例年以上の参加者による「サザエのつかみ取り」が行われ、子どもも大人も合図とともに、一斉に全力で海に駆け込み、海中に投げ入れられたサザエをわれ先にと探していました。近年は井鼻、久田海岸にも砂が付き、広い砂浜が出現しています。近くに大きな川もなく、下水道の整備も進み海は大変きれいになっていきます。皆さん海に行きませんか!! そして「海の出雲崎」を広めて下さい。(三輪 正)

### 編集後記

「議会だより」は議会と町民の皆さんのパイプ役です。議会活動の内容、議員の考え方など、出来るだけ分かりやすく、定例会終了後、早く発行することが重要と考えております。

そのために、年4回の定例会後、今までは翌々月の5日発行を、今年一月より翌月20日発行と約半月間早く発行しております。また見やすい紙面づくりのため、写真を多く掲載する、小見出しを付ける、用語解説など改善を続けておりますが、皆様のご意見、ご要望をお聞かせください。

- (三輪 正)
- 議会報特別委員会
  - 委員長 田中 元
  - 副委員長 三輪 正
  - 委員 小林泰三
  - 委員 仙海直樹

### 議会だより

#### 発行予定

発行は年4回。発行日は4月20日・7月20日・10月20日・1月20日です。議会の傍聴にぜひおいでください。